

わかば[🌿]



CONTENTS

- ありがとう! 縫野得枝さん 2・3
- お知らせコーナー 4・5
- 地域の活動ええ和・話・輪 6
- 社協活動紹介・ふくしクイズ 7
- 善意銀行だより 8

この広報誌は一部赤い羽根共同募金の財源を活用しています。



手づくり布マスクをありがとう! 縫野得枝さん

「ぬうのとくえ」ってだれやねん?と思われる方が大多数かと思えます。実は、今年2月に開催した「助けられ上手講座」の中で行った寸劇での登場人物です。南あわじ市でボランティアをされていて、縫物がめっぽう得意という人物設定です。

社協では4月から縫物のボランティアを募集し、新型コロナウイルスの流行により不足していた布製手作りマスクの作製を呼びかけました。すると、たくさんの問合せがありうれしい悲鳴に大わらわでした。「孫たちに作ったから縫えますよ」「作り方教えて」「布持ってきたよ」など、子育て世代のママから高齢者まで幅広い「得枝さん」が協力してくださいました。「裁縫は得意ではないけれど、『やってみよさん』ならできるかも」とチャレンジしてくださる方も大きな力でした。また、神戸新聞に「縫野得枝さんボランティア募集」の記事を掲載いただき、市内のみならず、島外の方までもが応援してください、送られてくる布や手作りマスクに感謝感激です。届いた布マスクの総数は3,000枚を超えました。改めて、地域のボランティアのみなさんの力を感じました。みなさまのご協力、ありがとうございました。



【窓口で「得枝さん」登場!】



【ご自宅で縫ってくれました】



【完成した布マスク】



【なでしこの利用者がラッピング】



【きれいに袋詰めしました】



【広田老人クラブ連合会女性部会からもご寄附いただきました】

届いたマスクは市内のみなさんにお届けしました!

届いたマスクは、市内の小中学校や保育所、子ども園、障がい者施設、高齢者施設などの福祉施設を中心にお渡しをさせていただきました。また、一般の方で必要な方にも郵送にて、お届けをさせていただきました。



【小・中学校、保育園へ】



【市内の福祉事業所へ】



【各金融機関にもご協力いただきました】

老舗メーカーからやさしい布マスクをいただきました

南あわじ市で長く靴下製造を行う株式会社ユイ様(代表取締役 由井淳裕さま)から、布製マスク500枚を寄贈いただきました。これは、この度の新型コロナウイルス感染拡大にともない、取引先から「これまでの靴下製造の技術を生かしてマスクをつくってもらえないか」というニーズに応えつくられたもので、非常に柔らかい素材で丁寧につくられているため、着けた感覚はこれまで感じたことのない「やさしい着け心地」です。今回の新型コロナウイルス感染症対策においても何か地域に役に立つことができなかと考えていたところ、「あつまれ! 縫野得枝さん」プロジェクトが取り上げられた新聞記事をご覧になり、早速行動にうつされたとのこと。寄贈いただいたマスクは、地元である南淡エリアの介護保険施設やサービス事業所の利用者とスタッフに届けてもらえればとのお申し出を受け、各事業所へお届けしました。他にも、森の木ファーム株式会社様(松本守史代表)からもマスクを寄贈いただきました。市内で活動されている訪問介護事業所等へお届けしました。本当にありがとうございました。



地域に広がる布マスク活動 ～縫野得枝さんのその後～



マスクづくりボランティアとして「縫野得枝さん」を大募集しました。このマスクづくりは、それぞれの地域で支えあいや見守りの形となり広がっています。地区や自治会などで「縫野得枝さん」の型紙を使って「うちの地区でもマスクが縫えるように、みんなに型紙を渡してあげよう」と各戸に型紙を配ったところ、「マスクがなくて困っているご近所さん」の助けになればと、地域の顔が見えるご近所さんのためにマスクづくりをする助け合いになったところがあります。そのひとつに、市地区地域づくり協議会による「イチノマスク活動」があります。「んー。どこかで聞いたような?」と思われるかもしれませんがね(笑)でも、こちらはれっきとした(?)市地区のボランティアさんが地域のみなさんのためにマスクを作り、希望される市地区の方にお渡しできるしくみにした地域活動です。

みなさんが心悩ましている新型コロナウイルスが地域の助け合いを活発にしてくれたという皮肉な結果ですが、地域のみなさんの「こんな時こそ!!」の思いが大きな力となって現れました。このような活動をきっかけとして、住民のご近所同士のつながりが継続され、より住みやすい地域へと向かうよう、これからも応援していきたいと思えます。

延べ 203 名の “縫野得枝さん” にご協力をいただきました! 本当にありがとうございます

南あわじ市

大谷由佳、船越賀代子、仲山恵里子、岡井康美、三木洋人、服部隆子、窪田かほる、有働マリ子、中田員子、西洋子、平田喜代子、祖山ふみゑ、山口照美、北井みち子、加藤弘美、青山里美、奥野幸子、西尾和美、溝井美智子、仁里秋枝、松坂昭代、齋藤矩子、榎本照子、田中かほる、富本悦子、浜田洋子、原時子、三宅文子、天羽かほる、狭間友子、向原教子、平川信子、畑野しづ子、野口晴代、前田実千代、山下寿子、興津寿美江、興津治美、平山淳子、宮野節子、村上紀代美、鍛冶山るり子、谷口富美代、宮内つや子、橋本敦子、清水真澄、新地美里、素川富子、奥濱梓、市川弘子、奥村裕子、宗田幸恵、刑部道代、賀集順子、賀集祐子、松野利恵、中村美千代、原美千代、池田八重美、橋本ひろみ、三沢さち子、林典子、島田啓子、前田広子、松久保奈津子、喜田清美、楠本はつみ、TORO淡路島(木村公美、山田友香)、新田北いきいきサロン、なでしこしらゆり会、阿那賀地区公民館、広田老人クラブ連合会女性部会、森の木ファーム(株)、(株)ユイ、あずまサロン、エシエルケア訪問介護

洲本市

新地幼子、曾賀久美

明石市

寺岡綾子

西宮市

碓石道子

神戸市

住友勝子、斎藤栄枝、石原さかゑ

その他大勢の縫野得枝さんたち










(敬称略・順不同)



正しい手洗いを行って、感染症予防を行おう！！

まだまだ新型コロナウイルスの感染拡大が心配される日々ですが、身近に行える予防法として、手洗いがあります。正しい方法を知り、感染症予防を行いましょう。

【手洗い方法】

<p>①指輪や時計などは外し、流水で手を洗います。石鹸をつけてしっかりと泡立ってます。</p> 	<p>②手のひらをあわせて、洗います。</p> 	<p>③手の甲を伸ばすように、洗います。</p> 
<p>④指先や爪の間も、手のひらで渦を描くように5秒間洗います。</p> 	<p>⑤指の間も十分に洗います。</p> 	<p>⑥親指を手のひらでねじるように洗います。</p> 
<p>⑦手首も忘れず洗います。</p> 	<p>⑧流水でせっけん汚れを十分に洗い流します。</p> 	<p>⑨清潔な乾いたタオルで水分をしっかりとふき取ります。</p> 

県民ボランティア活動助成金 エントリーが始まります

ボランティア活動をしている団体で、助成金の交付を受けようとするグループ(団体)は、市社協への事前申込(エントリー)が必要です。

受付期間 7月1日(水)～8月31日(月)

助成額 上限3万円

* エントリー数により助成額を決定します。

申請条件

- ①兵庫県内で活動を行っているグループ
- ②団体の構成人数が5人以上であること
- ③年間12日以上(活動(事業)を実施)
- ④助成対象経費が6万円以上あること

など

※詳しくはボランティアセンターへお問合せください。

心がほっとやすらぐ地域の“ええ話”があれば教えてください♪

新型コロナウイルスの影響もあり、これまでの地域での集まりや、ふれあい・いきいきサロン、ボランティアなど、集まって活動することを自粛せざるを得ない状況になりました。これから少しずつ元の生活に戻っていく中で、これまでの活動だけでなく、新しく始まる活動や新たにできたつながりもたくさんあると思います。

社協では、みなさんのまわりの心がほっとやすらぐエピソードや、地域での取り組みを募集し、発信できればと思いますので、みなさんのまわりの“ええ話”があればぜひ教えてください！

近所でこんなことあってん！
会われへんけど、代わりにこんなことしたで！ など



お知らせ

～新型コロナウイルスの影響で、生活にお困りの方へ～ 生活福祉資金特例貸付制度のご案内

新型コロナウイルスの影響による休業や失業等で、生活資金にお悩みの方々に向けて、緊急小口資金等の特例貸付を実施しています

○緊急小口資金

【対象世帯】 新型コロナウイルスの影響を受け、休業等により収入の減少があり、緊急かつ一時的な生活維持のための貸付を必要とする世帯
※借入できるのは世帯で1名のみです

【限度額】 10万円以内
(世帯員4人以上、個人事業主等の特例の場合は20万円以内)

【貸付利率】 無利子
(ただし償還期日までに償還完了しなかった場合、残りの元金に対して年3%の延滞利子が加算されます)

【据置期間】 1年以内

【償還期間】 据置期間終了後2年以内

【必要書類】 世帯全員分が記載された住民票(発行から3か月以内)
収入減少がわかる書類(減収前と後の給与明細書、売上帳簿等)
顔写真入りの身分証明書
送金口座の通帳

その他、同様に特例貸付として「総合支援資金」もあります。詳しくはお問い合わせ下さい。

「ご相談はお早めに！」「まずはお電話で！」
ご理解と、ご協力をお願い致します。

令和2年度「無料法律相談」のご案内

今年度も、菜の花法律事務所寺岡良祐弁護士との協働事業として「無料法律相談事業」を実施します。日常生活上での法律に関わる全ての問題について、相談を受け付けます。お困りごとのある方は、ひとりで悩まず、ぜひこの機会をご利用ください。ご本人やご家族をはじめ、民生委員やボランティア、福祉専門職の方なども遠慮なくご相談ください。

【場所】 南あわじ市社会福祉協議会(旧緑庁舎) 202会議室

【日にち】 奇数月第3水曜日(予約制)

令和2年 7月15日、9月16日、11月25日

令和3年 1月20日、3月17日

【時間】 13:00～16:00(相談は一人30分)

【弁護士】 菜の花法律事務所 寺岡良祐 氏

【申込み】 実施日の前の週の金曜日までにご予約ください。

予約は1回の開設につき先着順で6名までとなります。

【対象】 南あわじ市内在住、在勤の方

相談は無料
秘密は厳守します



今世わらしべ長者ならぬ「玉ねぎ長者」

新型コロナウイルスの影響で、人と交流することが少なくなっていると思います。そんな中、素敵なエピソードを聞きました。ある方が犬の散歩をしていた途中、「玉ねぎ持って行きー」とご近所の方からいただいた玉ねぎ。散歩の進む中、次に出会った最近越してきた子ども連れのご家族に、話したことはないけれど、「玉ねぎいるかー」と子どもにひとつずつ。それ以来、挨拶をする仲になったそうです。今世長者話は財を成していく話ではありませんが、心の財産を蓄えていけるものになっているようです。日本人特有とされる「会釈」「うなずき」など、通常外国の方には理解しがたいようですが、密に言葉を交わすことが難しい今時世においては、実に便利なツールですね！

また、サロンや集まりでよく出会っていた仲間たちにも、出会うことが少なくなっている昨今、ゴミステーションでばったりと会った時には、「どう？元気？」と声掛けをしたり、近況を知らせ合うなど、大事なつながりを継続している地域もあります。「ゴキブリ団子を作って近くの仲間に配ったよ」というお話も聞かせていただきました。

南あわじのここにもいる！あっちにもいる！たくさんの「**こえかけ たろう 声掛太郎**さん・**こえかけ よ 声掛ます代**さん」になってくださいね。



「すれ違った時に手でも振ってみよか！」
「会えれへんし、メールでもしてみよか！」
「せんどぶりに手紙でも書いてみよか！」



地域で「こんなんしよるで〜」 空き地でラジオ体操！

湊地区のとある空き地では、毎朝(日・月は休み)8時からご近所の方が集まってラジオ体操をしています。「少しでも身体を動かせたら」との思いから始まり、今年で6年目を迎えます。こんな時だから密は避け、ちょこっとおしゃべりしてからみなさん自宅に帰ります。

こんな時だからこそ、ちょっとした“つながり”を大切にしていきましょう♪

心のこもったマスクを届けます！ ～なでしこデイサービスセンター～

新型コロナウイルス感染拡大の影響で不安な日々を過ごす中、「縫野得枝さんプロジェクト」に多くのボランティアさんが参加され、一つ一つ丁寧に手作りされた心のこもったマスクがたくさん届きました。

なでしこデイサービスセンターでは、届いたマスクを大人用と子ども用に分け、利用者が個別に包装する作業をしました。マスクを袋に入れる作業や用紙(洗い方の説明書など)を入れる作業、赤い羽根シールを貼る作業など、利用者それぞれができることを分担してこの活動に参加しました。

みんな熱心に取り組み、作業する楽しさを感じながら、一日でも早く多くの方に届くよう協力して頑張りました。



「ええ和・話・輪」で紹介してほしい活動があれば、ぜひ社協までご連絡ください♪

●借りられるのは知らなかったです。どんどん発信してくれるとありがたいです。

南あわじ市社会福祉協議会 令和2年度事業計画・予算

みんなで考え みんなでつくる 笑顔のまち ～つなぐ・つながる・つなぎあう～

社協では、「第3次地域福祉推進計画」に基づき、地域のあらゆる住民が役割を持ち、支え合いながら、自分らしく活躍できる地域コミュニティづくりをすすめています。誰もが認め合い、安心して暮らすことのできる「地域共生社会」を実現するため、地域住民、民生委員・児童委員、社会福祉法人、企業・団体・施設、ボランティアグループ、NPOなど様々な活動主体と協働してすすめます。

地域ケアシステムのしくみづくりに取り組みます

重層的なネットワークを作っていくことで、地域で支え合えるしくみをつくります。



誰もがつながりあえる人づくり・場づくりに取り組みます

地域や学校での福祉学習の推進
ボランティア講座の開催
ふれあい・いきいきサロンの推進 など



一人ひとりの生活を支えるネットワークづくりに取り組みます

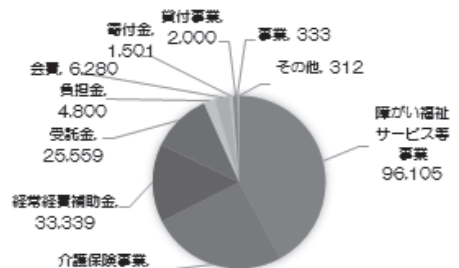
相談やニーズをもれなく受け止められる相談支援体制の強化
介護保険・障がい福祉サービスの充実 など

活動をすすめるための組織基盤づくり

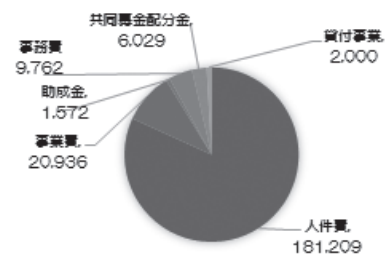
理事・監事会・評議員会の機能強化、財政基盤の強化
職員の資質向上に向けた取り組み



〈収入〉 228,206千円



〈支出〉 221,508千円



ふくしクイズ

表紙のみ～あは
何を持っているでしょう？

南あわじ市の特産品! ○○○○

(ひらがな4文字)

表紙写真は市地区 仁里さんご一家にご協力頂きました。ありがとうございます。

「ぼくら」(梅林) でした。

第59号のふくしクイズの答えは

■**応募方法** はがきに①クイズの答え②あなたのまわりのほっと心がやすらぐエピソード③郵便番号④ご住所⑤お名前⑥お電話番号⑦年齢をご記入の上ご応募ください。

■**締め切り** 7月31日(金)必着

■**応募先** 〒656-0122
南あわじ市広田広田1064
南あわじ市社会福祉協議会

- ◆応募者の中から10名の方に図書カードをプレゼント!
- ◆当選者の発表は、商品の発送をもって代えさせていただきます。

社協会費にご協力をお願いします

みなさまからお寄せいただく「会費」は、地域福祉の推進をめざす社協運営の貴重な財源です。社協では、地域に向けて様々な福祉活動を展開することで、住民のみなさまに還元しています。みなさまのあたたかいご理解とご協力をお願いいたします。

賛助会員/特別会員

10 1,000円



郵便振替口座 00920-5-311050

社会福祉法人

南あわじ市社会福祉協議会

郵便振替がご利用いただけます。

※振込手数料は本会が負担いたします。

